

第2538回

FUJIEDA ROTARY CLUB



藤枝ロータリークラブ会報

通常例会／小杉苑

会長:土屋 富士子
副会長:村松 繁幹事:太田 暢裕
副幹事:武田 浩英・八木 晋介UNITE
FOR
GOODよいことの
ために
手を取りあおう

● 会長報告

土屋 富士子君

皆さま、おはようございます。

本日もお忙しい中、例会にご出席いただきありがとうございます。

とんでもない寒波が日本列島を襲い珍しく藤枝にも雪がふり とても寒かったです。今日は少しいいようでございます。

私事ですが、今の季節イチゴがおいしいのですが いつもと山ほど牧之原まで買いに行っていましたが 今年は昨年の竜巻の被害に合い買うことができません。イチゴが取れず少ないということで高くあまり食べることができず寂しい思いをしています。

まずは、先週の南クラブとの合同賀詞交換会にご参加いただいた皆さんに、心より感謝申し上げます。新年の門出と共に祝い、親睦を深めることができたこと、大変嬉しく思っております。両クラブの絆がより一層強まつことを実感する、温かく和やかなひとときでした。

さて、本日 1 月 14 日は「愛と希望と勇気の日」とされています。1959 年のこの日、南極での越冬中にタロとジロという 2 頭のカラフト犬が奇跡的に生存していたことが確認された日です。極寒の地で生き抜いた彼らの姿は、まさに愛と希望、そして困難に立ち向かう勇気の象徴です。私たちもまた、地域社会に貢献するという使命のもと、日々の活動に誇りと情熱を持って取り組んでまいりましょう。

本日もどうぞよろしくお願ひいたします。



- ・ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやま Vol. 309 が届きました。
- ・国際ロータリーよりコーディネーターNEWS2026 年 1 月号が届きました。
- ・国際ロータリーより職業奉仕月間リソースのご案内が届きました。
- ・日本事務局より財団室 NEWS2026 年 1 月号が届きました。
- ・一般財団法人 比育英会バギオ基金より 2024 年度事業報告書、「バギオ基金」のご案内が届きました。
- ・公益財団法人 公益事業支援協会から「大規模公益法人 500 ガイドブック」とアンケートのお願いが届きました。

● 出席報告

仲田 廣志君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32 / 40 80.00%	29 / 40 72.50%

(1) 欠席者(事前連絡とマークアップをどうぞ)

○朝比奈孝君 ○石上君 内田君 落合君
○北島君 玉木君 ○戸田君 松田君 望月君
河森君

※○印は欠席連絡あり

(2) マークアップ者

朝比奈 孝幸君 (12/18 島田)
北島 肇君 (12/18 島田)

● ゲスト

米山奨学生 リ ジュウさん

● スマイルBOX

仲田 廣志君

- ・小西啓一君
妻の誕生祝ありがとうございます
- ・仲田廣志君
結婚記念お祝いありがとうございます。

● 幹事報告

太田 暢裕君

- ・英字版 the Rotarian が届きました。
- ・ガバナー事務局よりガバナー月信 1 月号が届きました。

一緒になって50数年になります。これからもお互いに健康でおだやかに過ごせたらと願っています。

・増田貴行君

妻の誕生日祝いありがとうございます。当日は忘れずにお祝いしたいと思います。

・松葉義之君

共に元気で80代を楽しんでいます。妻もソロプロミストで90まで頑張りたいと思います。

私も90過ぎまで頑張りたいと思います。

・八木晋介君

妻の誕生日祝いありがとうございます。必ず帰って渡したいと思います。

これからも2人でがんばっていきます。

・山田賀昭君

68歳になりました。これからも頑張ります。

玉露飲んで

・松葉隆夫

12/17 クリスマス例会に妻、孫2人が参加させていただきました。3人共たいへん喜んでおりました。

ありがとうございます

・マージャン同好会

12月の分です。森下会長の勝ち分です。いつもありがとうございます。

・山脇徳康君

第3回ゴルフコンペに参加させて頂きましたたくさんの方々をもろい優勝させていただきました。ありがとうございます。また、何かがあれば参加したいと思います。

スマイル累計額 48,540円

● 同好会卓話

【ゴルフ同行会 増田貴行君】



会長 山田賀昭
事務局 増田貴行
会員数 23名
2024-2025
5年度活動報告
・第4回コンペ
日時 2025

年6月14日 土曜日

場所 静岡カントリー袋井コース

参加人数 10名

優勝 増田貴行君 グロス82 ハンデ1

2 ネット70

準優勝 宮川邦光君 グロス96 ハンデ2

1 ネット75

第3位 島村武慶訓 グロス88 ハンデ8

ネット80

2025-2026年度活動報告

・第1回コンペ

日時 2025年9月27日 土曜日

場所 藤枝ゴルフ俱楽部

参加人数 11名

優勝 杉浦俊明君 グロス95 ハンデ2

1 ネット74

準優勝 太田暢裕君 グロス98 ハンデ2

3 ネット75

第3位 増田貴行 グロス82 ハンデ6

ネット76

・第2回コンペ

日時 2025年10月30日 木曜日

場所 ヤマハリゾート葛城ゴルフ俱楽部

参加人数 14名

ゲスト 浜松南RC神谷竹彦さん、寺島雅之さん、伊藤欽一さん、山内敬介さん

優勝 神谷竹彦さん グロス100 ハンデ18 ネット82

準優勝 山田賀昭君 グロス102 ハンデ17 ネット85

第3位 太田暢裕君 グロス109 ハンデ23 ネット86

・第3回コンペ

日時 2026年1月12日 月曜日

場所 ホロンゴルフ俱楽部

参加人数 18名

ゲスト 山田真言さん、真衣さん、藤野さん、萬さん、寺島さん、伊藤さん、石神さん、夏賀さん

優勝 山脇徳康訓 グロス104 ハンデ36 ネット68

準優勝 山田真言さん グロス90 ハンデ20 ネット70

第3位 夏賀正二さん グロス91 ハンデ18 ネット73

今年度の活動予定

3月25日水曜日 (年休会日)

第1回志太榛原6ロータリークラブ合同親睦ゴルフコンペ開催

場所: 藤枝ゴルフクラブ

募集人数: 12名前後

資格：焼津ＲＣ、島田ＲＣ、藤枝ＲＣ、焼津南ＲＣ、榛南ＲＣ、藤枝南ＲＣ各会員

競技方法：団体戦 新ペリア方式（各クラブ上位5名のスコア）

個人戦 新ペリア方式

締切：2月25日

5月下旬、6月上旬

第4回藤枝ＲＣゴルフコンペ

場所：静岡カントリー袋井コース

2025-2026活動 予定

・ゴルフコンペ 4回開催

・忘年会の開催

・ゲストの招待に力を入れる

【音楽同好会 青島克郎君】



前年度の音楽同好会の活動報告で音楽同好会の前身はカラオケ同好会であった事からカラオケの活動を再開しようと思い独断

と偏見で無理矢理に15名のメンバーに登録願いましたが私の努力不足から全く活動しませんでした。今後のカラオケでの活動は無理があるかという事で、またもや独断と偏見で音楽同好会を今年度で解散することといたしました。ただ、クリスマス例会などでは音楽同好会としてにわかに編成した有志で活動してきましたが今後、藤枝ロータリーバンドとして毎月1回ぐらいの練習などを親睦を図るようにしていきたいと思います。現在はピアノやベースなどのリズムメンバーがいなくバンドとして形になりませんが、今後会員や会員家族あるいは退会会員などで楽器演奏に挑戦したい人を広く求めます。

【グルメ同好会 山田賀昭君】



同好会の設立は、食を通じて会員相互の親睦を深めるとともに食文化や地域の魅力を再発見することを目的として発

足致しました。会員同士の情報交換を兼ねた食事をすすめ単なる美味しい食事にとどまらず、地域経済への理解を深めロータリー会員候補者を探しながら、会員同士がより気軽に語り合え

る場をつくることが、結果としてクラブ全体の活性化に繋がるものと考えております。

また、美味しい食事会は、世代や立場を超えて人をつなぐ力があります。

ロータリーの親睦と奉仕の精神を、身近で温かみのある形で実践できるのが、このグルメ同好会の魅力です。

事業活動は、活動計画は、まるはんへそ曲がりで美味しい鰻を食しながら決めていきます。うなぎ同好会と言っていいくらい 鰻を食べに行きました。米山梅吉記念館によって三嶋大社通り 三嶋うなぎ 丸平（まるへい）貸し切り個室の蔵があり大塚会員と米山奨学生リーさんうなぎ料理をたべました。東部地区では一番おすすめのウナギ屋さんです、とても古い蔵のなかでうなぎの寝床のような 奥行がながく薄暗いうなぎが好む場所で鰻になったような感じがして 食べた鰻料理は最高でした。

西部地区のうなぎ屋さんは、沢山ありますが蒸しの少ない蒲焼が私自身は大好物ですのでお勧めは三ヶ日地区の うなぎの千草 うなぎ有栖さん浜松市では うなぎまんまる 磐田市駒場 うなぎ料理中村屋団体で活動したのはとろろ汁料理では丸子の待月楼では、会員20名つのって、清水の稽古さんのイベントを兼ねて楽しい時間を過ごしました。後に新春合同賀詞交換例会に稽古さんたちに来ていただき楽しい時間を作ることにもつながりました。

沼津市 日本料理 レンテツさん 20数名でバスをチャーターして行きました、狩野川をみながら楽しい食事会となりました。

焼津市 栄町

なかむら さん 天ぷら料理も10数名でいきました。目の前で天ぷらを揚げていただきとても美味しかったです。藍染めシャツを中村友紀さんと奥さんにプレゼントして記念写真をとりました。

今後の展望としては、ぜひ多くの皆さんにご参加いただきまた、家族参加型も企画したりしてロータリーらしい食の交流を一緒に楽しんいただければ幸いです。その為にも

グルメ同好会の運営幹事を数名決めて活動していきたいと思います。

【麻雀同好会 森下敏顯君】



麻雀同好会の近況をお話します。一年半前までの十数年間、休眠状態でした。毎年同好会卓話では「来年は頑張ります。」の繰り返しでした。

そんな時、武田浩英君が僕が幹事やりますからみんなでやりましょうと音頭とってくれて、10名のメンバーを再登録してくれました。そして最低月一回の同好会を開く事ができるようになりました。最近は武田君も仕事に歌手活動にと忙しくなっていましたが、代わりに菅原慎司君が出欠席、場所の確保等すべてこまめにやっていただき毎月の定例会を途切れさせすことなく、楽しませてもらっています。毎月第4週の土曜日 AM10:00 から PM4:00 くらいの6時間を楽しんでいます。みんなの発案で1回戦事200円のニコニコを拠出する事にしました。

だいたい8回戦ほどやりますから1,600円のニコニコができます。

それでは今からは麻雀同好会で誰よりも楽しんでくれている松葉義之会員から麻雀の楽しさを語ってもらいます。よろしくお願ひします。



-----松葉さんのお話は要約するところの内容でした。「88歳米寿の自分が楽しくみんなと麻雀できてボケ防止には最高です。こんな楽しませてもらうんだから3万円ほど払わなければいけないと思っているけど先日も終わって財布を数えると3万3千4百円有り、こんなに儲かったと言つたら奥さんからあなたいつも儲かっているみたいだから私にも分けまいちようだいと言われました。元金3万円を知らないお笑いでした。」

このような内容でした、麻雀は楽しいよと繰り返し語ってくれました。松葉さんありがとうございます。これからも健康に気を付けてさらに麻雀で頭の回転を鈍らせなければそうとう長生きしますよ。ますます麻雀を楽しみましょう。

● 新会員卓話

山脇 徳康君



本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございます。私は、しづおか焼津信用金庫 藤枝中央支店で支店長をしております山脇徳康です。

現在53歳、1972年8月16日生まれです。平野さんと全く同じです。生まれは愛知県であります、幼稚園に入る5歳の時に実家である藤枝市滝沢に戻り、瀬戸谷小学校、瀬戸谷中学校を卒業し、県立藤枝東高校に入学、何とか3年間で卒業し、専修大学へ入学、こちらも4年間で無事卒業しました。ただ、高校・大学ともに卒業証書がどこにあるのか、ちょっとわからないので探してみたいと思っております。そして、1995年4月に当時の焼津信用金庫（まるせい）に入庫し現在に至ります。育ったのが瀬戸谷なので遊ぶものは自然相手が大半だったと思います。特に印象的なのは、春にわらびを取りに行って、取ったわらびを売っておこづかいにしました。この金額が結構馬鹿にならないで、ワンシーズンで2万円前後だったように記憶しています。これが小学校だった頃なのですごく良かったのを記憶しています。釣りもたくさんしたと思います。その当時は川の水もあったので、アユ釣りに行きました。滝ノ谷まで行くとかなり大きなアユが釣れたので、ナイフと塩を持って行き、その場で塩焼きにしこもありました。小学校高学年になると、だんだんソフトボールとサッカーが忙しくなってきて、山に入ることも釣りに行くことも無くなってしまいました。小学校4年から始めたサッカーは、仲間や環境に恵まれて、大学まで本格的に続けることができました。学生最後の公式戦は、天皇杯本戦での浦和レッズとの試合が最後となりました。当時レッズには福田や野人岡野。ブッファルト、途中から山田も出て来てフルメンバーだったと思います。結果は1-3で負けてしまいましたが、最後に楽しくサッカーができたよかったです。サッカーを続けてきて得たものは、やっぱり仲間なのかと思います。サッカーを通じて知り合った人とは、今でも年齢関係なくお付き合いをさせて頂いています。この人脈、人と人のつな

がりが、今でも信用金庫での仕事に大きく、助けられてきていると感じています。信用金庫の支店長として何か、それっぽいことをお話しの方が良いかと思います。新聞やニュースで語られている金融トレンドは、メガバンクや海外のお話がおおいですが、実は信用金庫の世界にも“特有のトレンド”があります。今日は、地域金融の最前線で起きている変化を、信用金庫の立場からお話したいと思います。あくまで、信用金庫の手連弩なので当庫ができているかは何とも言えないですが、信用金庫の【金融トレンド】は5つ

1. 『融資』から『経済支援』へのシフト
お金を貸して終わりではなくて、事業そのものを一緒に考える金融へ
御膳は金融機関の役割は『資金が必要な時にお金を貸す』ことが中心でした。ところが最近は、『そもそも、この事業をどう伸ばせるか』『資金繰りをどう安定させるか』という相談が圧倒的に増えています。信用金庫では融資の前段階で事業計画と一緒に考えたり、補助金や専門家の紹介を行うことは、日常業務になってきています。要は《貸す前》《貸した後》の支援を行っているということです。具体例として

- ・事業計画策定支援
- ・資金繰り改善・補助金活用
- ・専門家（税理士・中小企業診断士）との伴奏
当庫ではサポート部が担当しています。

2. 事業継承・M&A

信用金庫では今や・後継者不足・親族承継の限界・従業員承継・第三者承継 が特別な案件ではなく、日常的な相談になっています。以前では、数年に一度の相談だった事業承継が今では、毎月のように相談が来るテーマになっています。継承者がいないという悩みは、特別な悩みではなく、どの業種でも当たり前に出てくる相談になりました。

信用金庫では、《会社をどう畳むかではなく》《どう残すか》と一緒に考えていきたく、取り組んでいます。例えば工場・土地を探している企業さんが多いと思います。その良さに M&A で取得する税制面でもメリットがある場合もあるそうです。

3. 担保。保証に頼らない有志判断

財務データだけでなく・経営者の人柄・取引先との関係・地域での信用を重視する傾向が強まっています。金融機関でいうと、担保や保証の

話をイメージされるかもしれません。勿論重要ですが、最近はそれだけでは判断しきれません。経営者の考え方/従業員との関係/地域での信用/こうした数字に表れない部分を、日々の対話の中でどう評価するか。ここに、信用金庫の存在価値があると感じています。

4. DX は効率よりも“接点強化” 【DX という言葉をよく聞きますが、信用金庫の DX は少し意味合いが違うと思っています】信用金庫の DX は、店舗の削減・人員削減が目的ではなく、*職員が外へ出る時間を作るためであります。

・タブレット涉外・電子契約・オンライン相談
人に会う時間を増やすための DX です。人を減らすのではなく、職員が外に出て、お客様と会う時間を作るための DX です。手続きは効率化し、相談や対話はより丁寧に。これが信用金庫らしいデジタル活用だと思っています。

5. 『選ばれる金融機関』へ

地域に金融機関が多くあるなかで・金利だけ・条件だけ では選ばれない時代だと考えています。そのために信用金庫では、・情報提供力・顔の見える関係・地域のネットワーク を金融サービスの一部として提供する様に取り組んできています。

金融の世界はデジタル化が進んでいますが、信用金庫の価値はむしろ”人と地域 “にあります。技術は進化しても、最後に意思決定をするのは”人”これからも信用金庫は、地域の一員として皆さまと一緒に考えられる存在でありたいと思っています。金融の世界は大きく変わっていますが、信用金庫の役割は、実にシンプルだと思っています。地域で事業されている方々に安心して挑戦できる環境を支えること。これからも信用金庫は金融機関というより地域の一員として皆さまと向き合っていきたいと考えています。本日はありがとうございました

● 奨学金授与

米山奨学生 リ ジュウさん



『ロータリーの友 1月号紹介』



1月は、職業奉仕月間です。
横組みの3ページにフランチエスコ・アレツツオR
I会長メッセージ

が掲載されています。

職業奉仕にとどまらない奉仕について書かれていますので紹介させて頂きます。

1行目からアメリカ・カリフォルニア州サリナス郊外の自動車修理工場では、若者たちがクラシックカーの修復技術を学んでいます。このプログラムで得られるのはスキルだけではありません。メンター制度を通じ、一部の若者にはギヤングから足を洗い、有意義な仕事へ向かう新たな道筋が生まれています。研修を終えた若者は、資格と実務経験、そして希望を胸に旅立ちます。

1月の「職業奉仕月間」は、専門性を持つ人々が集い、「世界でよいこと」をする力をたたえる機会です。同時に、「高潔性」とは単に行動と発言が一致しているというだけでなく、私たちの一つ一つの行動に表れることを思い起こさせてくれます。

この自動車修理プログラムが成功したのも、高潔性に基づいて築かれたからです。カーメル・パイ・ザ・シー・ロータリークラブの会員は、「地域のニーズは分かっている」と決め付けず、まず耳を傾けました。すると、熟練整備士の不足と、職業訓練を受けていない若者が多いという課題が明らかになりました。技術習得だけでは不十分と判断した彼らは、カウンセリングや支援サービスを職業訓練と並行して提供する非営利団体と連携しました。これは、「四つのテスト」の実践です。この四つの問い合わせは他者を裁くためではなく、真に効果的で、誠実な奉仕へと私たちを導く指針なのです。

右側8行目から、みなさんは、人の人生を変える知識と専門性を備えています。どのような職業であれ、皆さんの専門性にロータリーの価値観が加わることで、持続的な変化が生まれます。問われているのは「自分に何か提供できるかどうか」ではなく、「自分のスキルをどう生か

して奉仕するか」です。

クラブとして地域の職業的ニーズにどう応えられるか、改めて考えてみてください。誰かの人生を動かす力を持つスキルは何か。皆さんの人脈を生かして若者たちにどのような扉を開けることができるでしょうか。持続可能な雇用を生むには、どのようなパートナーシップが築けるか。高潔性を道しるべに、「四つのテスト」と共に歩みましょう。

と書かれています。1月は、職業奉仕月間ですので、職業奉仕の意義を見つめなおしましょう。

横組みの18ページをご覧ください。

「ワークウェア例会で仲間の仕事をもっと身近に」という職業奉仕の記事を紹介させて頂きます。当クラブでは以前より「会員相互の職場訪問例会」を定期的に開催し、職業奉仕の理念を共有してきましたが、「理解促進のための方法は他にないか?」「新会員に職業奉仕をどのように伝えれば良いのか?」といった疑問を感じていました。

「職業奉仕に関する声明(～ロータリー章典～8.030.1.)」には、クラブの役割として「頻繁に職業奉仕を実践することによって、クラブ自身の行動に職業奉仕を応用するととによって、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである」と記載されています。「なるほど!」と思いました。職業奉仕を理解する上で「職業奉仕とは〇〇である」と説明するよりも、「私はこうした思いで仕事をしています」と実体験を語り合う方が意義深いと考えた私は、仕事着で参考集し、会員各自が考える職業奉仕を語り合うワークウェア例会を開催することにしました。テーマは「あなたは何を大切にして仕事をしていますか?」あなたは仕事の中で『四つのテスト』をどのように生かしていますか?」の二つ。テーブルごとの語らいは乙の例会を有意義なものにしてくれました。これからも「例会→職業奉仕→例会」のサイクルを通じて、職業奉仕への理解促進に努めたいと思います。

今まで、当クラブでも会員の職場訪問例会を行っていますが、どうしても、限られた会員の職場への訪問になってしまいますので、このような例会を通じて、お互いの職業に関する考え方や職業奉仕の考え方を知ることができると思い紹介させていただきました。

続いて、縦組みの記事の紹介をさせて頂きます。表紙の裏ページに 2026-2027 年度の表紙を飾る絵画作品を募集しています。全国 8 万人のロータリアンに届きますので、興味のある方は応募してみてはいかがでしょうか。3 月 15 日が締め切りだそうです。

縦組みの 2 ページをご覧下さい。
第 2680 地区の I M 講演の「寄り添いの経営」という記事が掲載されています。

紹介させて頂きます。
徳武産業(株)とくたけは、現在、介護シューズ市場でのシェア日本一の企業です。

代表取締役の そごたかお さんは、41 年前に先代社長の急逝を受け、急きょ 37 歳で社長に就任したそうです。当時は、大手靴メーカーの下請けとして、学童用シューズの縫製を行う企業でした。社長に就任してから 15 年間、その体制を続けていたそうです。その後、絶余曲折がありながら、業界の非常識を超え介護シューズ作りに挑戦したそうです。きっかけは、地元高齢者施設の園長をしている友人から、お年寄りが転ばない靴を是非作ってほしいと頼まれたことからだそうです。

最初のうちは、試作を繰り返し、お年寄りに試着をしてもらっても、納得してもらえるものが出来なかつたそうです。その理由は、お年寄りは左右の足のサイズが違う方が多いからだそうです。大きい足のサイズに合わせて靴を購入し、小さいほうのあしに靴下を重ねてはいたり、詰め物をして履く人が多く、そこから無理が生じて転倒の原因となっているそうです。

そこで、左右サイズ違いの靴の販売、片方のみの靴の販売を取り入れたそうです。

お年寄りからは、何年かぶりに左右ぴったりの靴を履けて、歩く事が楽しくなりそうと喜んでいただけたそうです。履きやすい靴があれば、自分で靴を履き気持ちよく外出できるそうです。靴作りという職業をつうじて、社会がよりよくなるように貢献している会社であると感じました。また、とくたけ産業は、地域の人から良い会社と認められる会社、そして地域の自慢、誇りとなる会社を目指し、道路、高齢者施設、水路の清掃、耕作放棄地の草刈り等、社員全員で、地域に貢献しているそうです。

これこそ職業奉仕ではないかと思いましたので、紹介させて頂きました。

1 月のお祝い

おめでとうございます

石垣君、落合君、山田君、村松英君
北島君



小西 啓一君のご婦人
戸田 雪子君のご夫人
松葉 義之君のご婦人
八木 晋介君のご婦人
増田 貴行君のご婦人



仲田廣志君ご夫妻



ソングリーダー…… 武田 浩英君
ソング…… 我等の生業

四つのテスト



《1・2月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
19	20	21	22	23
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
26	27	28	29	30
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	
2/2	3	4	5	6
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
9	10	11	12	13
閉局	10:00～ 16:00	閉局	10:00～ 16:00	閉局
16	17	18	19	20
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
23	24	25	26	27
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局
〒426-0037
藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21
TEL054-647-2300 FAX054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当／菅原 慎司君)